

けい酸ソーダ入積層ガラス

パイロストップ

関連項目

- ガラスを安全にお使いいただくために ⇒P.6
- 板ガラスの標準施工 ⇒P.158
- 最大・最小受注寸法 ⇒P.199
- 設計・施工・使用上に関するご注意 ⇒P.174
- お問い合わせ先
日本板硝子ディー・アンド・ジー・システム株式会社 ⇒P.211

高透過板ガラスとけい酸ソーダ（水ガラス）層とを交互に積層した構造のパイロストップは、万一の火災時に火炎や煙を遮断すると同時に、強烈な輻射熱も遮断する画期的な性能を備えた遮熱タイプの防耐火ガラスです。

このパイロストップを弊社独自の技術でフレームと一体で組み合わせたパイロストップウォールはガラスでは不可能といわれていた耐火間仕切壁（非耐力）の認定試験にも合格。今後の新たなガラス建築の可能性を広げるガラスとして大きな注目を集めています。

●特長

1 防耐火ガラス

火災時にガラス面の温度が120℃を超すと、けい酸ソーダ層が発泡し火炎や煙はもちろん輻射熱をも遮断します。そのため900～1,000℃の火災で加熱された場合も、非加熱面のガラス面は百数十度以下に1時間保持されます。一般の防火ガラスでは300℃以上になる隣接した空間も、パイロストップなら50℃以下に保たれますので避難を容易にします。またパイロストップの近くに可燃物があっても着火を防ぐことができます。

2 高透過

高透過板ガラスを採用しているためワイヤレスでクリアな視界が大開口面で得られます。

3 安全性・遮音性

パイロストップは高透過板ガラスとけい酸ソーダ層を交互に多層構成した合わせガラスなので、ガラス面への衝突や地震などで万一破損した場合でも破片の飛散を防ぎます。

また、遮音性能もJIS等級T-3（35等級）と優れた効果を発揮します。

●用途

1 ガラス耐火間仕切壁

- ・透明なガラススクリーン耐火間仕切壁
- ・特に避難通路、避難階段などの耐火壁をシースルーにする場合
- ・法的には特定防火設備が使用可能でも安全性の向上が望ましい建物および部位
(例えば公共施設、病院の避難通路周辺や可燃物が多い用途の区画)
- ・大規模建築物などの一時避難エリア、消火救助エリア

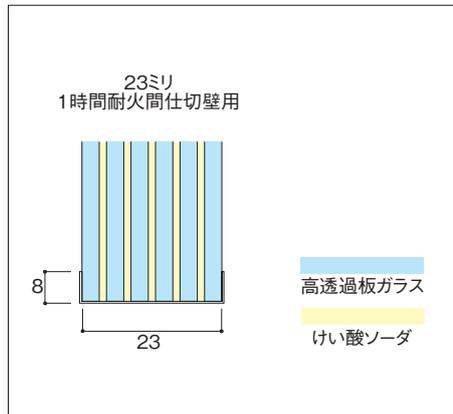
2 その他

- ・美術品などの展示ガラススクリーン



●清水建設 東北支店(宮城) 耐火間仕切壁(スリムタイプ)

●パイロストップ構造図



防火テスト中：パイロストップの非加熱面の温度は手でも触れられる程度の温度にしか上昇しません

●マーク表示

コーナーの1カ所に所定のマークを表示しています。



●ならはスカイアリーナ(福島) 耐火間仕切壁(スリムタイプ)

真空ガラス

複層ガラス

防耐火ガラス

ガラス
防炎・防犯

強化・倍強度

合わせガラス

特殊
機能ガラス

熱吸・熱線反射

板ガラス

装飾ガラス

鏡
カー
ーガラス

板ガラス
応用
施工
法

設計・施工・
使用上の
ご注意

ガラスの
光学的
性能
熱的
性能

製品
一覧

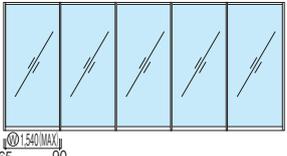
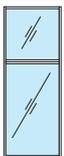
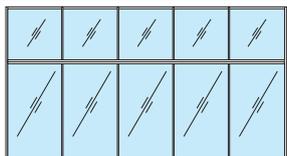
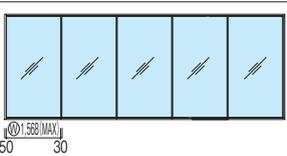
●品種表

| 品 種 | 色・パターン | ガラスの構成 | 呼び厚さ(ミリ) | 最大寸法(mm) | 最小寸法(mm) |
|---------|--------|----------------------------|----------|---------------|----------|
| パイロストップ | クリア | 高透過板ガラス3ミリ×6枚、けい酸ソーダ発泡層×5層 | 23 | W1,600×H2,900 | 300×200 |

※ご使用になる寸法で輸入するため、通常3~4ヶ月の納期が必要です。

※上記以外の仕様についてはお問い合わせください。

●1時間耐火間仕切壁 パイロストップウォール:特殊なフレームと一体で認定を取得しています。

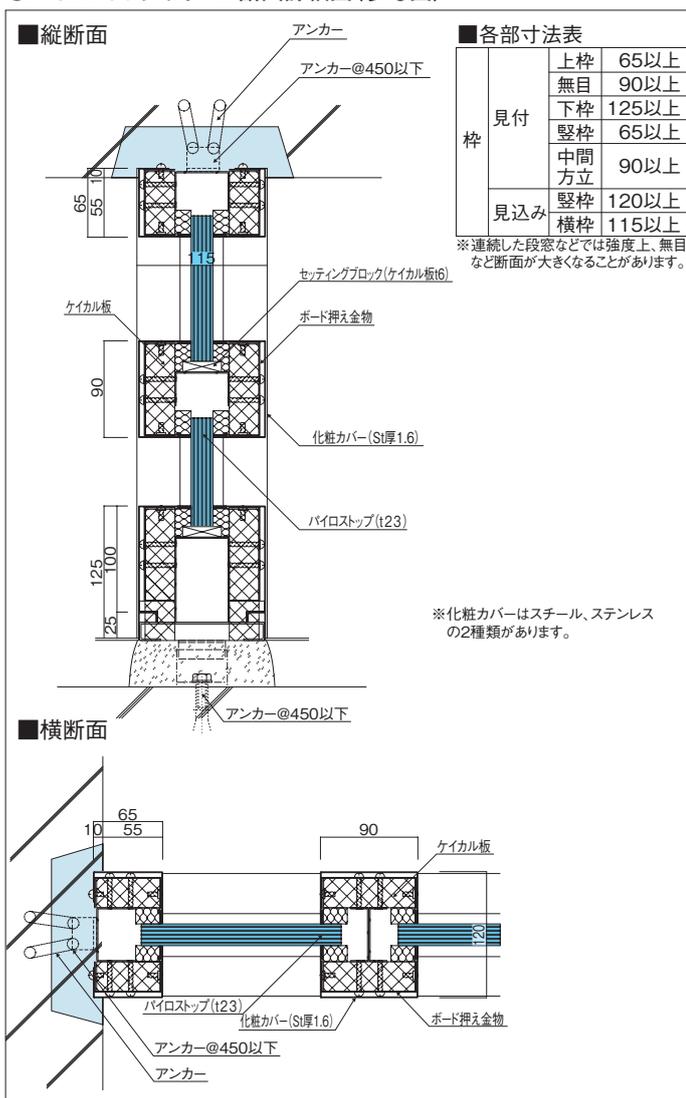
| 対 象 | 種 類 | 認 定 番 号 | 姿 図 | 最 大 寸 法(mm) |
|-------|-----------------|--------------|--|-------------------------------|
| 主にビル用 | 耐火間仕切壁 | FP060NP-9007 | 単窓  連窓  | 枠内法 ①1,540×②2,815 |
| | | | らんま付  連窓らんま付  | |
| | 耐火間仕切壁 (スリムタイプ) | FP060NP-0343 | 単窓  連窓  | 枠内法 ①1,568×②2,860 ※単窓:下記参照 |

※パイロストップウォールは火災時の放射熱を遮断するため、ガラスのみでなく周辺フレームも特殊遮熱構造としてあります。このため、非加熱面温度は火災時135℃~146℃となります。

※らんま付や連窓でガラスが大寸法の場合、無目の補強や断面を拡大する必要があります。

※スリムタイプの単窓の場合は枠内法 ①1,560×②2,860となります。詳しくは、日本板硝子ディー・アンド・ジー・システムにお問い合わせください。

●パイロストップウォール断面詳細図(参考図)



●パイロストップウォール(スリムタイプ)断面詳細図(参考図)

